

科目名	経営史	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済 学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Business History	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	くにい のりお	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	國井 法夫	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	今年度は第2次世界大戦以降の日本企業経営史を学ぶ。				
到達目標	半期という時間の関係上、 ①第二次世界大戦直後の時期における企業とその経営 ②世界史上稀有な経済成長を実現した高度成長期における企業とその経営 ③日本経済に対する国際的評価が史上最高水準にまで到達した安定成長期における企業とその経営				
授業概要	時間の関係で明治大正期の企業については学びませんが、第2次世界大戦以降日本の企業がどのように生成発展してきたかを、その時々々の経済の状況とともに説明します。				
授業計画					
第1回	序章 経営史はなぜ必要か				
第2回	敗戦からの復興について				
第3回	日本経済の再建者たち ①出光佐三―出光興産				
第4回	日本経済の再建者たち ②西山弥太郎―川崎製鉄千葉				
第5回	逆境への対応―財閥から企業集団へ				
第6回	奇跡の復興―高度経済成長期の日本企業				
第7回	国民生活と産業構造の変化				
第8回	高度成長から安定成長へ				
第9回	ジャパン・アズ・ナンバーワン				
第10回	革新的企業家の活躍―ソニーとホンダ				
第11回	戦後日本の経営者のタイプ分け				
第12回	ソニーとホンダの同時性と共通性				
第13回	日本的経営と経済成長 ①日本企業の3つのタイプ ②日本的経営の本質				
第14回	バブル崩壊以降 ①失われた10年 ②リーマンショック ③東日本大震災 ④人口減少社会へ				
第15回	日本企業はなぜ失敗したのか ①日本的経営の機能不全 ②投資抑制メカニズム ③挟み撃ちにされた日本企業				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	各人の興味の持ち方にもよるが、企業の経営史を学ぶ上で関心のある企業がどのように発展してきたかを各人が調べることも、就職希望学生には良いと考えます。				
履修条件 受講のルール	欠席せず真面目に授業が受けられる学生を求めます。				
テキスト	ポータルサイトに掲載するプリントで実施する。				
参考文献・資料					
成績評価の方法	試験の得点（50％）・授業への貢献度（30％）・学習態度（20％）等で総合評価します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験				

	を受けることができません。
オフィスアワー	毎週月曜日 4 時間目
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	なし
学生への メッセージ	真面目な授業態度・欠席しない学生を希望します。頭髪注意します。